

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について（中学校3年生）

**国語** 平均正答率 **ふじみ野市60.0%** 埼玉県59.0% 全国58.1%

知・技	(1) 言葉の特徴			(2) 情報の扱い方			(3) 言語文化		
平均 (%)	本市	県	全国	本市	県	全国	本市	県	全国
	62.0	59.7	59.2	59.9	60.2	59.6	78.2	75.2	75.6
思・判・表	A 話す・聞く			B 書く			C 読む		
平均 (%)	本市	県	全国	本市	県	全国	本市	県	全国
	59.7	60.5	58.8	68.6	66.8	65.3	49.8	49.2	47.9

課題が見られる問題		正答率 (%)		
		本市	県	全国
1ー	話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	62.8	64.2	63.2
1≡	話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	42.1	44.0	44.0

必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることと、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することが課題である。いずれの課題に対しても、ロールプレイなどを通して内容を具体的に捉えられるようにすることや、ディベートなどにおいて意見と根拠を整理する場面を設けることなどの手立てが考えられる。

**数学** 平均正答率 **ふじみ野市55.0%** 埼玉県53.0% 全国52.5%

	A 数と計算			B 図形			C 変化と関係		
平均 (%)	本市	県	全国	本市	県	全国	本市	県	全国
	53.8	51.1	51.1	43.5	42.4	40.3	63.2	61.1	60.7
	D データの活用			知・技			思・判・表		
平均 (%)	本市	県	全国	本市	県	全国	本市	県	全国
	58.2	57.1	55.5	66.0	64.0	63.1	31.8	30.4	29.3

課題が見られる問題		正答率 (%)		
		本市	県	全国
6 (3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	41.6	41.9	41.8
7 (3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	43.1	47.0	48.5

統一的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することと、複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することが課題である。前者の課題に対しては、問題解決型学習(PBL)などにおいて、実世界から問題を見だし、その解決に数学的思考を促す学習過程を組むことなどの手立てが考えられる。後者の課題に対しては、数値計算やグラフ作成などのソフトウェアツールを活用し、複雑な計算関係の錯誤を減らし、四分位範囲自体に焦点を当てて考えるなどの手立てが考えられる。